

《V学生支援》の記述及び資料等について

【入学に関する支援について】

(1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。

本学の建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像等は、本学の紹介パンフレット『マイカレッジ』（添V - 1）に掲載をしている。毎年、5月頃に発行し、本学の資料請求があった場合は郵送し、全国で実施される業者主催の進学懇談会、また創価大学が実施する進学懇談会等で、広く全国に配布している。毎年、約20,000部を印刷している。

また、この『マイカレッジ』は、入学試験要項（願書を含む）の配布時期（7月中旬）には、入学試験要項とセットにして配付をしている。

(2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、AO入試等）をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備ください。

入学志願者に対して、入学者選抜の方針、選抜方法を明示する1つの手段は、受験者が願書を提出する際に、必ず必要とする入学試験要項（願書を含む）である。

入学試験要項（参V - 1）は、入学試験の種類により、次の4種類がある。

- ・ 入学試験要項（一般入試、公募推薦入試）
- ・ 帰国学生入学試験募集要項（帰国学生入試）
- ・ 外国人学生入学試験募集要項（外国人学生入試）
- ・ 推薦入学試験要項（系属校推薦入試）

2つに、これまで入学者選抜の方針、選抜方法等は規定の様式により郵送で、文部科学省、各都道府県知事及び教育委員会教育長等に通知する方法をとっていたが、平成17年度入試より、創価女子短期大学ホームページで公表するようにした。

その他、各種の広告媒体を使用し、入学者選抜の方針、選抜方法等について、広く高校生、受験生に周知するようにしている。

- ・ 私立短期大学【東京・関東】入学案内（東京都私立短期大学協会刊）に入学者選抜の方針、選抜方法等を掲載している。
- ・ 各種受験雑誌等への投稿等

(3) 広報及び入試事務についての体制（組織等）の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい。

- ・ 広報及び入試事務は教務課が担当し、担当者は2名である。

広報（パンフレット、入試要項の作成、雑誌・新聞等への記事掲載）、入試実施体制の計画立案について2名が担当している。

- ・ 各地で実施する進学懇談会については、教務課の5名が分担して担当し、首都圏及び地方大都市を中心に回っている。遠隔地及び志願者の少ない地方の進学懇談会については、同一法人の創価大学入試事務室が本学志願者についても対応している。

- ・入試出願書類の受付及び入試の実施にあたっては、全学的な体制（13名）で対応している。入試実施の際は、受験生の整理や誘導等の運営役員として、同一法人の創価大学からも職員の応援を得ている。
- ・また、受験生の問い合わせに対する対応は、教務課（6名）全員があたっている。

(4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備ください。

願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れ

	公募推薦 入試	一般入試	帰国学生 入試	外国人学 生入試	推薦入試 (系属校)
入試要項(願書)を作成し 配付を開始	7月中旬	7月中旬	7月中旬	7月中旬	12月上旬
願書の受付	11月 1日 ～	1月 5日 ～	10月 1次 11月 2次	10月 1次 12月 2次	12月中旬 ～
入試の実施	11月 20 日前後	2月 5日	11月 20 日前後	1月中旬	1月中旬
採点及びコンピュータ入 力	入試日及 び翌日	2月 5日	入試日	入試日	入試日
合否判定表の作成	入試日翌 日	2月 5日	入試日	入試日	入試日
入試委員会・教授会	11月下旬	2月上旬	11月下旬	1月下旬	1月下旬
合否の発表	11月下旬	2月 10日	11月下旬	1月下旬	1月下旬

- ・志願者が全国に散在しているが、試験会場が本学の1ヶ所のみであるため、入試時期の気象状況には細心の注意を払っている。平成18年度一般入試では、大雪による交通混乱のため、会場に来られなかった札幌の受験生対象の追試験を後日札幌にて行った。
- ・身体に障害がある受験生については、受験上配慮が必要かどうかを前以て確認し、受験体制を整えるとともに、入学後必要となる施設、備品等についても確認の上、準備し対応するようにしている。
- ・開学以来、入試の実施体制についてはこれといった問題は起きていない。
- ・本学の志願者数は年々増えており、平成19年度入試においては、18歳人口が最も多いとされる平成3年、4年の志願者数をも上回った。本学の教育方針、入試のあり方が受験生から一定の評価を得ている証左と考える。

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。

合格者もしくは入学手続き者に対し、第2次手続きの際、『新年度オリエンテーション日程』を全員に郵送し、授業開始にあたってのオリエンテーション内容を通知している。また、本学の建学の指針及び創立者の建学の理念について、入学前に全員がそれを踏まえて学生生活をスタートできるよう、『創立者と私ー創立者スピーチ集』（参V - 2）を全員に贈呈している。なお、スピーチ集贈呈以前は、学生生活の一助として、在学生が編集し本学事務室が監修した冊子『妹へ』を贈呈していた時期がある。

また、一人暮らし及び寮生活をする新入生が全体の6～7割を占めることから、健康面（食生活含む）においての準備をしてもらうため、『保護者の皆様へ』（参V - 2）との資料を保健センターが作成し、入学前の家庭での健康チェック、既往症に対するケア、及び一人暮らしの健康的な食生活に対する指導を行ってもらうようお願いしている。

(6)入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示してください。

入学式以降の1週間を掛けて、『新年度オリエンテーション』を実施している。

- ・新入生オリエンテーションとして本学の建学の指針に基づく教育について、学長以下本学教職員が話をする。
- ・履修ガイダンスとして教育内容の概要と授業実施計画及び履修登録の方法について、教務課が担当してオリエンテーションを行う。
- ・スチューデントライフガイダンスとして本学の施設設備及び学内の諸規定及び学生生活に必要な情報について、学生課がオリエンテーションを行う。
- ・奨学金のガイダンスを学生課が行う。
- ・無事故で安全な学生生活への意識構築のため、全学防犯講習会を学生課が主催し、警察関係者などを招きオリエンテーションを行う。
- ・女性のための健康講座・メンタルヘルスケアガイダンスを健康な学生生活のために、学生課が主催し、医療関係者を招きガイダンスを行う。
- ・生活プランニングガイダンスとして新入生が2年間の生活のライフプランを立てる上での一助となるよう、学生課が主催し卒業生を招きガイダンスを行う。
- ・健康診断を新入生を対象にオリエンテーション期間中に行う。
- ・授業実施に伴い、語学科目のクラス分けの為のテストを実施する。
- ・創学サービス・保健センター（短大保健室）・図書館等の活用について、ガイダンスを実施する。
- ・SUA 語学研修ガイダンスとして、本学が実施している語学研修全般にわたり学生課が主催しオリエンテーションを実施する。

また、入学者に対して、入学の約1ヵ月半後に、本学学生としての自覚と誇りを養い、学問研鑽の意識を高めると共に、学生相互、教員と学生との交流を深める事を目的として、1泊2日の学外施設での『フレッシュマンズキャンプ』（新入生研修）を実施している。

次に、平成19年度前期のオリエンテーション日程表を記載する。

19 年度前期オリエンテーション日程

曜日	時間	1 年		時間	2 年	
		現代ビジネス学科	英語コミュニケーション学科		現代ビジネス学科	英語コミュニケーション学科
2 日 (月)	第 2 3 回入学式					
3 日 (火)	9:10～ 10:40	新入生学年ガイダンス (200)		9:10～ 10:40		
	10:50～ 12:20	スチューデントグループオリエンテーション 現ビ：A(105)B(106)C(220)D(221) 英コ：A(222)B(223)C(224)D(103)		10:50～ 12:20	学年ガイダンス (200)	
	13:10～ 14:40	スチューデントライフガイダンス (200)		13:10～ 14:40	S G M 現ビ：A(105)B(106)C(220)D(221) 英コ：A(222)B(223)C(224)D(103)	
	14:50～ 16:20	SUA短期留学プログラム参加決定者 オリエンテーション① (101)		14:50～ 16:20		
4 日 (水)	9:10～ 10:40	履修ガイダンス (200)	履修ガイダンス (400)	9:10～ 10:40	新規希望者のための奨学金ガイダンス (102)	
	10:50～ 12:20	防犯・交通安全講習会 八王子警察 終了後 八王子市より①八王子市におけるゴミ分別について ②八王子市行政について (白鳥体育館)				
	14:00～ 16:30	TOEIC-IP試験 現ビ(200)、 英コA・B(101)、C・D(102)		14:00～ 16:30		
5 日 (木)	9:10～ 10:40	図書館・保健センター・創学サービス ガイダンス(白鳥体育館)		9:10～ 10:40	履修ガイダンス (400)	履修ガイダンス (200)
	10:50～ 12:20	女性のための健康講座①(講演) (白鳥体育館)		10:50～ 12:20	進路・就職ガイダンス (200)	
	13:10～ 14:40	メンタルヘルスケアガイダンス (白鳥体育館)				
	14:50～ 16:30	女性のための健康講座②(質問・相談コーナー)(各教室) SUA短期留学プログラム参加決定者履修ガイダンス(101)				
6 日 (金)	9:10～ 10:40	日本学生支援機構奨学金予約候 補生のためのガイダンス(200)		9:10～ 10:40		
	10:50～ 12:20	短大生活プランニングガイダンス (200)		10:50～ 12:20		
	13:10～	新入生歓迎会(学生会・入学式実行委員会主催) (白鳥体育館)				
7 日 (土)	午前	資格試験ガイダンス(詳細は教務課掲示板でお知らせします)				
	13:00～	健康診断・レントゲン撮影 (松風センター)		午後	創大推薦編入学面接試験	
1、オリエンテーションは本学の建学の精神に基づき、教育方針並びに大学生活をいかに送ればよいか、また、学生の皆さんが卒業までに、どんな科目をどのような計画で履修しなければならないかについて、指導するものです。これに欠席すると、学生生活に不便をきたすとともに、卒業にさしつかえることもありますので、必ず出席してください。欠席しなければならない場合は、学生課まで連絡をしてください。 2、学生の皆さんへの連絡は、掲示板(1階ホール)に掲示しますので、登下校の際は必ず掲示を見てください。 ※入学式：4月2日(月) ※図書館開館：4月9日(月) ※図書館開館：4月9日(月) ()の数字は教室番号です。						

【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示してください。

学習支援のため、次のとおり各種のガイダンスを実施している。

- ・履修ガイダンス（科目履修に関する制度・手続きや勉学に取り組む姿勢等についてのガイダンス）
- ・特別履修ガイダンス（創価大学への編入生を対象とした、創価大学での科目履修についてのガイダンス）
- ・SUA 留学プログラム・語学研修等ガイダンス（アメリカ創価大学を中心とした海外留学・研修に参加する学生のためのガイダンス）
- ・資格試験ガイダンス（資格試験の内容の説明、資格取得のための講座の説明、その他資格に関するガイダンス）
- ・新年度のガイダンスの際は、English Placement Test (TOEIC-IP) を実施し、習熟度別クラス編成の参考としたり、学習の達成度を測るための参考にしている。
- ・その他図書館の使用に関するガイダンスや学習・就職に向けての短大生活プランニングガイダンス等も行っている。

(2) 学習や科目選択のための印刷物（学生便覧等を除く）があれば参考資料としてご準備ください。

学習や科目選択の資料として、次のような印刷物を準備している。

- ・授業ガイダンス（シラバス）(参Ⅱ - 1)

科目選択等の資料として、授業ガイダンス（シラバス）を準備している。新1年次生に対しては、印刷物で配付するが、それ以外の学生は Web で参照するようになっている。記載項目は、科目の授業目的、授業概要、授業計画、教科書、参考書、成績評価の方法等。

- ・履修手続要領(参Ⅱ - 2)

履修登録の制度・手続き、単位認定（授業、海外留学・研修、創価大学での特別履修、資格取得等の単位認定）についての説明等を記載。B-4 表裏履修ガイダンスで使用。

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っている場合は、その概要を記述して下さい。

現代ビジネス学科では、本年度より、1 年の 4 月のガイダンス時に実施される TOEIC-IP テストの結果、芳しくない学生を対象に、基礎的英語力の向上を目的とした「フレッシュマンイングリッシュ」を開講した。

また、昨年度まで、後期に実施されていた SUA 留学プログラムの現代ビジネス学科の参加対象者（10 名）に対し補習授業（事前研修）を実施した。英語の基礎学力を底上げし、留学プログラムをより有意義なものにすることをねらいとした取り組みである。SUA においては、原則としてそれぞれの専門学科の枠を超え授業を受けることになるため、英語コミュニケーション学科参加者に劣らぬ英語力をつけるた

めであった。実施時期は留学プログラム開始のおよそ2ヶ月前、6月から7月上旬であり、実施時間は10コマ相当（15時間）であった。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みや体制があれば記述して下さい。

本学では、次のような制度を設け、学生の学習上の問題、悩み等に対して指導助言ができるよう対応している。

- ・全専任教員は毎週1回オフィスアワー(約90分)を設け、学生の学習やその他の問題の相談にのっている。
- ・SA（スチューデントアドバイザー）制度を設け、各グループ(約39～50名)の学習上の問題やその他悩み事の相談役になっている。月に1回 グループミーティングを開催し、学生同士の懇談や学習の場になっている。ここでは、SAは学生の要望により、適切なアドバイスを与えるよう期待されている。
- ・ゼミナール（現ビ学科、英コ学科専門科目）は選択科目であるが、現ビ学科では約75%、英コ学科では約85%の学生がゼミナールに所属している。定員は原則として15名であり、テーマについて学習するのみならず、合宿やサブゼミ等を通じて担当教員との人間的交流も多く、学生にとって学習上の問題その他悩み等について指導助言を受けるよい契機となっている。
- ・学生相談室を設け、臨床心理士を2名置いている。学生の精神的な悩みや相談に対応している。
- ・履修科目の内容や履修方法について、学生が相談したい場合は、教務委員（教員）や教務課（職員）が履修ガイダンスとは別に履修相談に応じている。以前は、一定の時間・場所を決めて対応していたが、現在では学生からの申し出があった場合、随時対応している。
- ・留学や語学についての学習上の相談、指導・助言は、英語教育センターが担当している。
- ・資格取得に関する学習上の相談、指導・助言は、資格試験指導室が担当している。

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行っていれば、記述して下さい。

- ・上位の検定試験合格者に対しては、上限3単位までが卒業要件に係るものとして認定されている。また、上位の検定試験保有者について、それに係る科目の単位認定がなされ、他の勉学に専念できるよう配慮している。
- ・英語コミュニケーション学科では、特に習熟度の高い学生について、Advanced Classを設け、少人数の授業を行っている。

【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を示してください。

学生生活を支援するための組織及び体制として以下のものがある。

- ①SG（スチューデントグループ）制度およびSA（スチューデントアドバイザー）制度
- ・本学では、学生1人1人が学生生活をより充実した価値あるものにできるよう、SGとSA制度を設けている。SGは、単なる授業履修の単位だけではなく、学生が学生同士の交流や親睦を図り、相互に切磋琢磨することを目的としている。
 - ・また各SGには1名ずつ教員のSA（スチューデントアドバイザー）を置き、学習上の助言にとどまらず、学生生活全般および進路などの相談にあたり、学生が安心して勉学に取り組めるよう応援している。
 - ・全ての学生はSGに所属し、月1回、学生が主体となりSGM（スチューデントグループミーティング）を行い、キャンパスライフ向上のための場として活用している。
 - ・SGの中よりSL（スチューデントリーダー）、副SLを各1名ずつ選出し、SAと相談しながら、SG及びSGMを運営している。
 - ・SL、副SLは半年任期で各学期の始めに各グループで選出し、各グループの代表としてSGの活発な運営ができるようリーダーズ研修会に参加している。

②学生委員会

本学の教職員で構成する委員会で、学生部長を委員長として各学科2名の教員及び2名の職員から成る。進路就職関係の学生支援を含めて広く学生生活の支援のための協議、検討を行っている。

③学生課

本学事務室に2課あり、その1つが学生課である。学生生活の支援全般を担当し、また、学生個別の相談にも応じる窓口となっている。

④オフィスアワー

本学専任教員全員によるオフィスアワーを行っている。

⑤学年M（ミーティング）・後期全学ガイダンス

各学期の終わりに学年Mを開催し、定期試験・夏季休暇・春季休暇を無事故で有意義に過ごすための具体的なオリエンテーションを行っている。また、後期のスタートに際し、「後期全学ガイダンス」を実施し、各学年の総括と翌年への準備を行う。

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭、短大祭等）の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

本学のクラブ活動は、建学の指針に基づいた重要な教育活動の一環として、学生主体で行っている。現在は、クラブ連合会を中心に、体育系10団体、文化系21団体が活動し、全学生の約半数がクラブに所属している。週3回程度の活動を基本に、積極的に公式戦に参加し、また各種発表会を開催している。

短大祭（白鳥祭）の実施については、開学以来毎年秋（当初は11月実施、平成17年度より10月実施）に開催している。学生自治の団体である「短大学生会執行委員会」が主体となり、短大祭（白鳥祭）の常任委員会を常設し、新年度4月後半よ

り学生で構成される実行委員会発足に向けての準備を行い、6月上旬までに実行委員会体制（実行委員長・副実行委員長の選出を含め）を整え、以降、定期試験実施期間を除く夏季休暇期間を利用し、開催準備にあたっている。

短大祭（白鳥祭）の内容は以下のとおりである。

- ・記念行事 ・展示 ・イベント ・模擬店
- ・後夜祭 ・広報活動 ・実行委員会企画

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。

休息のための空間としては、文学の庭が学生によく利用されている。

文学の庭には、テーブルとイスが7セット（1セット4人掛）、設置されており、晴天の日には、学生の懇談や休息によく利用されている。

保健室は1階にあり、平日は午前9時より午後5時まで、1名の看護師が担当している。通常のけがや病気への応急処置を中心に、健康相談や疲労の程度により、休息に使用させる場合もある。

食堂（プリンセスホール）は、320席のスペースがあり、昼夕に定食、麺類、弁当類を提供している。所定の時間帯以外は、学生が自由に使用することができる。また、団体で使用する場合、そうした個人の休息や自由な使用の妨げにならないよう、事前に会場の使用申請を提出させている。なお、本学のすぐ隣には創価大学の食堂（プリンスホール、ニュープリンス）があり、そちらを利用する学生も多い。

売店については、近くにある創価大学の学生ホールを利用している。食品、文房具、書籍、日用品、鉄道・航空券のチケット等が購入でき、クリーニングやCD、軽食コーナーも設置されているため、学生の利用率が非常に高い。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舍の斡旋の体制、通学のための便宜（通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等）の概要を示して下さい。

通学のための便宜としては、駐輪場を2箇所（正門、栄光門）に設置し、駐車場は有料3箇所（滝山、正門、白雲）と無料1箇所（緑の丘）を設置している。また、自転車、バイク、自動車で通学をする場合は、通学届を提出してもらい、さらに、バイクと自動車での通学の場合は車両登録制を導入している。同時に、年2回の交通安全講習会の参加を義務付け交通安全指導に努めている。

本学が設置する学生寮の状況については以下のとおりである。

- ・キャンパス内及び通学時間徒歩10分の学外に1寮ずつ計2寮設置している。
- ・収容人数は全寮総数で158名
- ・学寮の性格は教育寮
- ・運営総体は学生部長が学寮運営委員長として学生課職員が1名担当者としてその任にあたっている。

学寮運営規程に基づき、2年生の残寮生をおき、学生による寮役員体制を布いて学生自治による寮運営を行っている。毎月、学生部長を運営委員長として教職学で構成される全寮役員会を開催し、寮生活の支援また諸問題について対応を協議し、

教育寮としての機能が十分に果たせるよう取組んでいる。

下宿・アパート等の宿舍の斡旋の体制は、隣接する「創学サービス」に一本化している。入学前の合格者への資料として、創学サービスより各個人へアパート案内が送付され、希望する新入生からの依頼を受け、その希望に添った下宿・アパートの斡旋業務を行っている。

(5) 平成 18 年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。

本学独自の奨学金は設けていない。

外部からの奨学金については、大半が日本学生支援機構奨学金から借りている状況である。その他、地方公共団体等からの募集については、希望者が手続きをとり、採用してもらっている状況である。

①日本学生支援機構奨学金（18 年度の状況）

年度	学年	1 種	2 種	合計
1 年生	18 年度採用	53 名	254 名	307 名
2 年生	18 年度採用	0 名	6 名	6 名
	前年度からの継続	39 名	233 名	272 名
合計		92 名	493 名	585 名

②その他の奨学金（18 年度の状況）

あしなが育英会 1 年生 2 名 2 年生 1 名（前年度からの継続）
(財)宮川宗好奨学会奨学金 1 年生 1 名
長野市職員互助会奨学金 1 年生 1 名

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。

学生の健康管理については、短大保健室及び保健センターによる健康診断を年 1 回実施し対応している。日常的には、体調不良時の応急処置及び医療相談、医療機関の案内を本学保健室及び創価大学の保健センターが行っている。

また、本学教職員が学生と接する中でキャッチした学生の健康面での不具合については、保健室及び保健センターと連携し、適宜効果的な対応を個人に対し及び全学的に行っている。

メンタルケアカウンセリングについては、平成 18 年 11 月に専属の心理カウンセラー 1 名を採用し、「学生相談室」を設置した。また、19 年度より、更にカウンセラー 1 名を採用し、計 2 名の体制をとっている。また、カウンセラーと担当教職員による運営会議を定期的に開催し、学生のケアに向けて、万全のサポートを目指している。

その他、年度始め・学期始めのガイダンスにおいて、「メンタルヘルスケアガイダンス」や「女性のための健康講座」を開催し、専門家を講師として招き、学生への知識啓蒙の機会としている。

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。

学生個々の情報(参 V - 4)は、学籍原簿、学生カード、住所カード等を学生課で管理している。いずれも、鍵のかかるキャビネットに保管・保護をしている。また個人情報保護規程に基づき、管理・運用を行っており、各所属長が管理の責任者となっている。

データベースのシステム管理も限られた職員が行い、ID、パスワードで厳重に管理している。

【進路支援について】

(1) 下の進路状況表を例に、過去 3 ヶ年（平成 16 年度～18 年度）の就職状況を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備ください。

平成 16 年度～18 年度 現代ビジネス学科の進路状況表 (19 年 3 月 31 日現在)

現代ビジネス学科	16 年度		17 年度		18 年度	
a 卒業者数	195 人		187 人		176 人	
b 就職希望者数 b / a	119 人	61.0%	122 人	65.2%	127 人	72.2%
c うち学校で斡旋した就職者数 c / b	32 人	27.4%	19 人	10.2%	37 人	29.4%
d うち自己開拓分の就職者数 d / b	83 人	70.9%	97 人	51.9%	86 人	68.3%
e 就職未定者 e / b	2 人	1.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
f 進学・留学希望者数 f / a	53 人	27.2%	47 人	25.1%	39 人	22.2%
g 進学・留学者 g / f	51 人	96.2%	47 人	100.0%	39 人	100.0%
h 進学・留学準備中 h / f	2 人	1.0%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
i その他進路決定者 i / a	7 人	3.6%	3 人	1.6%	2 人	1.1%
j 不明・無業者数 j / a	16 人	8.2%	15 人	8.0%	9 人	5.1%

平成 16 年度～18 年度 英語コミュニケーション学科の進路状況表 (19 年 3 月 31 日現在)

英語コミュニケーション学科	16 年度		17 年度		18 年度	
a 卒業者数	180 人		138 人		152 人	
b 就職希望者数 b / a	114 人	63.3%	83 人	60.1%	85 人	55.9%
c うち学校で斡旋した就職者数 c / b	20 人	17.7%	25 人	18.1%	12 人	14.1%
d うち自己開拓分の就職者数 d / b	86 人	76.1%	58 人	42.0%	72 人	84.7%
e 就職未定者 e / b	6 人	5.3%	0 人	0.0%	1 人	1.2%
f 進学・留学希望者数 f / a	47 人	26.1%	36 人	26.1%	39 人	25.7%
g 進学・留学者 g / f	42 人	89.4%	36 人	100.0%	39 人	100.0%
h 進学・留学準備中 h / f	5 人	10.6%	0 人	0.0%	0 人	0.0%
i その他進路決定者 i / a	1 人	0.6%	2 人	1.4%	3 人	2.0%
j 不明・無業者数 j / a	18 人	10.0%	17 人	12.3%	25 人	16.4%

(2) 学生の就職を支援する組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を記述して下さい。

本学の教職員で構成される「学生委員会」が、学生生活とともに、広く学生の進路・就職に関するガイダンス等を掌握、検討し、学生の就職支援にも関わっている。

事務組織としては、事務室の学生課が、進路・就職の所管となっており、担当職員は 2 名である。現在は、1 名が、1 年生への事前教育（キャリアガイダンス）、もう 1 名が 2 年生の進路・就職指導、または学校推薦等を始めとする斡旋業務を担当している。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報等を提供しているかを記述して下さい。

開学以来設置していた「就職資料室」を平成 17 年度に「キャリア支援室」と改名し、就職だけでなく、進路全般を支援する場とした。

①民間企業の求人情報、②会社概要、パンフレット、③公務員の募集情報、④大学編入学資料、⑤専門学校資料、⑤Uターン就職のための情報誌、⑥留学・ワーキングホリデー等の資料を閲覧、配布できるようにした。また、コンピュータ 2 台を設置し、企業検索やエントリーができるようにした。

求人票・求人情報は、学生が一番見やすい掲示板に随時貼り出し、新鮮な情報を提供できるようにした。

(4) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

就職希望者に対する学生課の支援に呼応して、就職率は一定の水準を保っており、満足している。学生が就職先を選ばなければ、更に就職率は伸びるものと思われる。また、学科の別にかかわらず多方面の分野に亘り就職先が広がっていることは、本学では多様な学生が輩出されている結果と考えられる。

(5) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の進学（4年制大学、専門学校等）及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったかを記述して下さい。

4年制大学、専門学校、海外の学校への進学などを希望している学生に、あらゆる角度から支援・助言できる体制をとっている。4年制大学への編入学情報提供・相談は教務課、専門学校への進学情報提供・相談は学生課、海外の学校（特に英語圏）への留学の相談は英語教育センター、留学の情報提供は教務課（時には創価大学国際課）が担当している。編入学ガイダンスやキャリアガイダンス等でも概要や実績を紹介している。キャリア支援室にも多数の資料を用意している。

創価大学への3年次編入については、全学部全学科において受け入れ態勢が整えられている（推薦枠数55名）。「創価大学編入学ガイダンス」や「創価大学編入決定者ガイダンス」などを創価大学教職員の協力を得て実施している。各学部各学科との緊密な連携により、編入学科へのミスマッチが減っている。また、編入対象学科の事前学習指導が、編入後の勉学に弾みをつけているようである。

また、SA（スチューデントアドバイザー）も進路の相談にのっている。卒業生の活躍やSAの持っている情報をもとに、多岐にわたる進路を応援している。

平成16年度～18年度 現代ビジネス学科の進学及び留学状況表 （3月31日現在）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
4年制大学進学(含通教)	35人	30人	30人
短大進学	1人	1人	0人
専門学校進学	14人	13人	9人
3ヶ月留学(含1年生)	10人	10人	10人
1年間留学(在籍留学)	1人	0人	2人
留学(卒業直後)	2人	1人	0人

平成 16 年度～18 年度 英語コミュニケーション学科の進学及び留学状況表（3 月 31 日現在）

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
4 年制大学進学(含通教)	30 人	31 人	35 人
短大進学	0 人	0 人	0 人
専門学校進学	11 人	2 人	3 人
3 ヶ月留学(含 1 年生)	29 人	30 人	30 人
1 年間留学(在籍留学)	0 人	0 人	1 人
留学(卒業直後)	3 人	2 人	1 人

【多様な学生に対する支援について】

(1) 過去 3 ヶ年（平成 16 年度～18 年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。なお、学生数はいずれの年度も 5 月 1 日時点とします。

多様な学生の受け入れ状況（平成 16 年度～18 年度）

	16 年度	17 年度	18 年度	計
留 学 生(人)	0	0	1	1
社 会 人(人)				
帰国子女(人)	2	2	0	4
障 害 者(人)	0	0	0	0
長期履修学生(人)	0	0	0	0

※本学では、帰国子女の受験資格を次のように定めている。

外国において正規の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め 2 年以上継続して在籍し、学校教育における 12 年の課程を卒業または 3 月までに卒業見込みの者。かつ、その国において大学入学資格を有する者または本学が資格があると判断した者。ただし、既卒者は卒業後 2 年以内の者。

- ① 留学生については、外国人留学生入試を特別に実施し、留学生の受け入れを行っているが、過去 3 ヶ年（平成 16～18 年度）で、志願者及び入学者は 18 年度の 1 名のみである。入学に際し、授業を受けられるだけの日本語能力を身につけていることを条件としているため、学習支援体制については、特に設けていない。日本語能力に欠ける場合は、併設の創価大学日本語別科への入学を勧めている。

生活支援については、学校法人として学費の減免措置や奨学金の支給等を行っている。また、本

人が入寮を希望する場合は、創価大学留学生寮に入寮させている。

- ② 社会人学生については、社会人入試を行っておらず、従って受入も行っていない。
- ③ 帰国子女については、帰国学生入試を特別に実施し、受け入れを行っている。入学後、語学等で在籍学生に与える好影響もあるため、積極的に受け入れている。入学後の学習支援体制は特に設けていない。日本語能力に欠ける場合は、併設の創価大学日本語別科への入学を勧めている。生活支援については、親と同居か否か等の

実情に即して、対応している。親が海外に居住する場合は、学費の減免や奨学金の支給等を行う場合もある。

- ④ 障害者については、入試の際に特別の対応が必要かどうか確認の際に把握をし、入学後の準備を行うようにしている。

過去の例としては、車椅子常用者の学生を受け入れたことがある。その支援体制については、受け入れ当時、本学の施設・設備のバリアフリー化が十分でなく、入学決定の後、学生本人と保護者との面談を行い、細かな要望を受け入れ、不適切な個所の改善を行った。また、通学に際し、車両での通学を許可し、車両の駐車についてキャンパス内への乗り入れを許可した。以上の要望受け入れ及びその対応の主管は学生課がその任にあたり、学生部長がその責任者としてあつた。その後の障害者の受け入れ実績は無い。

- ⑤ 長期履修生については、受け入れの実績が無い。学則にも科目等履修生の受け入れの規定を設けているが、開学以来科目等履修生、長期履修生の志願者は無い。従ってそのための学習支援、生活支援も行っていない。

【特記事項について】

- (1) この《V 学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。

成績不良者及び長期欠席者への援助については、授業運営の申し合わせとして、授業出席不良者情報として『出席勧告』を各教科担当の教員より教務課へ提出し、授業出席管理を厳重に行っていくことが、学内的に確認されている。

『出席勧告』で対象となった学生に対し、教務課と学生課がよく連携し、面談等により追跡調査を行い、学生部長を中心に関係する教職員（SA 及び窓口職員など）で個別に効果的な支援の内容を協議、検討し対応している。

また、表彰制度は、以下のとおりである。

- ① 学業奨励賞 1 年次の成績優秀者各学科 2 名に対し、学業奨励金を贈り表彰する。
- ② 資格試験奨励賞 資格試験指導室が実施する『資格試験』の上級合格者に記念品を贈り表彰する。
- ③ 卒業表彰 卒業時に以下の各賞を贈る。
- ・ 創立者賞 2 年間を通して人格が優れ本学学生の模範となった最優秀の学生に記念品を送り表彰。
 - ・ 香峯賞（学科総代） 学科における成績最優秀者に記念品を贈り表彰。
 - ・ 白鳥賞（全学で 10 名） 2 年間本学の建設にあらゆる分野で貢献した学生に記念品を贈り表彰。

- (2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

〈添付資料〉 1. 学園（短期大学）案内

〈参考資料〉 1. 募集要項、入学願書等

2. 入学手続者に対し入学までの情報提供のための印刷物等

3. 学習や科目選択のため印刷物

4. 就職一覧表等の就職実績（過去3ヶ年）についての印刷物

5. 学生支援のための学生の個人情報を記録する様式